

技能研修賛成？反対？

36号1面で報告したボルルールで実施の短期技能研修について、メイドとしての海外就労を奨励することにならないか？会が目指した地域での経済的自立支援の原則から外れるのでは？という懸念を書いたところ、会員・市民の皆様から、いくつかメールなどでご意見をいただきました。ありがとうございました。以下に一部要約してご紹介し、今後の活動の参考とさせていただきます。

<賛成>

- * 海外就労そのものは悪いことではない。虐待や人権侵害で心身のダメージを受けて国に戻るケースもあるだろうが、多くは特に問題はなく、送金で弟妹が学校に行けたり家族の治療費が払えたりしている。従って技能研修にメイド予備軍を育てるマネジメントコースを入れてもいいと思う。それも自立支援といえる。

<反対>

- * 個人の選択としての海外就労はもちろん自由だが、助成金や会費を投入して、海外就労も視野に入れた研修カリキュラムを支援するのはおかしいと思う。
- * 教育支援の結果として、町や海外での就労を目指す子どもが出てくるのは当然だが、NGO活動は、設立の趣旨、原点があるわけで、その理想やゴールを現状追認の形で変えてしまうのはどうかと思う。

<その他のコメント>

- * 「地域で自立できる支援」という理想はわかるし、それに固執したい気持ちはわかるが、別な方法で社会は動いているはず。柔軟な発想で、頭を真っ白にした時、答えが出てくると思う。

サムラング夏季技能研修に応募者殺到

町へのアクセスが便利な1回目研修のボルルールに対して、有機農業推進モデル農場もあるサムラングでは、農器具製作、農機具操作など農業関連技能が加わりました。議論のあったホームマネジメントコースは今回含まれていません。

日程：4月12日から5週間（日曜を除く）全30日

講師：マーベル技術専門学校(MIT)教師

CMB 農業指導者リコ

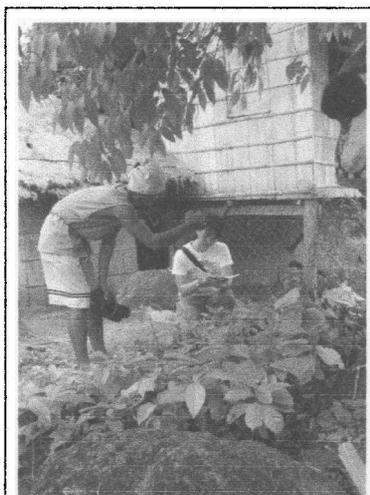
コースと受講者数：

- | | |
|--------------|-----|
| 1 家屋配線工事 | 35名 |
| 2 農機具製作技術 | 23名 |
| 3 農機具工 | 53名 |
| 4 栄養・衛生・食品加工 | 69名 |

受講生には、13名のHANDS奨学生が含まれています。

ほとんどが地元サムラングとアトゥモロック出身のハイスクール在校生です。

夏休み利用の技能研修が卒業後の進路選択に生かされることを期待しています。



サムラング有機農場でリコにインタビューする佐々木
(手前は雨期を待つ苗木)

イタリアへ出稼ぎに行くフィリピン人を描いた映画『ミラノ』を観て

『ミラノ』は主演に人気俳優・女優をキャスティングした恋愛物ですが、実際にミラノのぶどう園やハウスキーパーとして働くフィリピン人数名へのインタビューが挿入され、海外労働がその人たちや本国で待つ家族にどういった影響を与えるかをきちんと描いた映画です。イタリアはフィリピンと同じカソリック国ということで、出稼ぎの需要と供給があるようです。「ミラノに4万人ローマに6万人、イタリア全土なら何万人のフィリピン人が働いていることか！」というセリフがありました。家賃が高いため、ひとつのアパートを大勢でシェアします。毎晩クタクタに疲れて部屋に帰って来る仲間を、お互いにマッサージし合い、一日中立ちっぱなしでむくんだ足を高く上げて眠りにつきます。夫や妻や子どもをフィリピンに残し、ミラノで淋しい者同士恋人になってしまい、「ごめんなさい、帰れないの」と泣きながら子どもに電話するシーンもありました。家族を幸せにするために出稼ぎに来たのに、結局自分が家庭を崩壊させてしまうその胸の内はどんなにつらいものでしょう。現実起こっている問題を、包み隠さず描いた作品です。(佐々木)